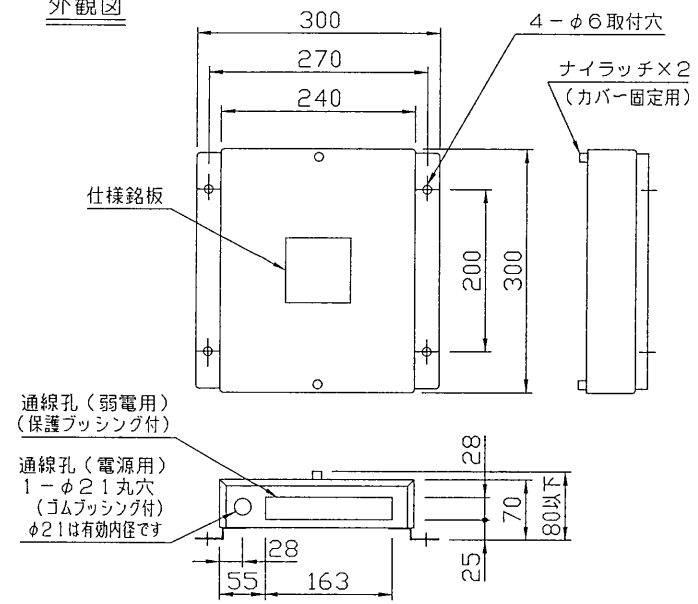
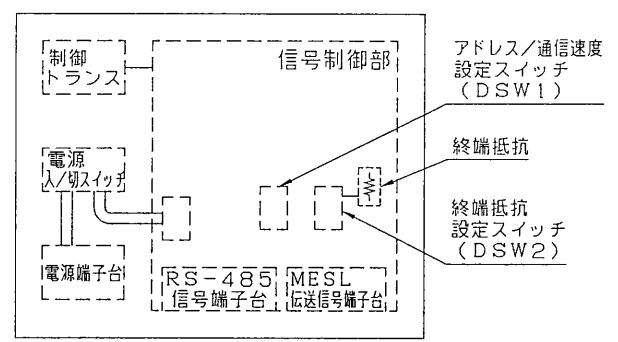


外観図



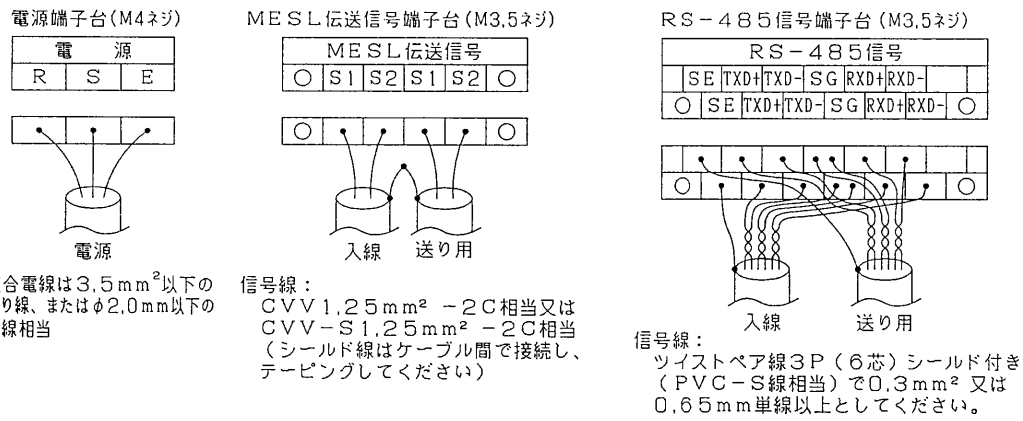
回路構成図



仕様

接続可能システム	MESLリモコンシステム	
電源	定格電圧	AC100V/200V/220V (±10%) 共用
	周波数	50Hz/60Hz
	接地	D種接地
機能	中央監視盤(ホストコンピュータ)からの制御/監視データをホスト通信ユニット経由でMESL伝送信号に変換します。また、MESL伝送信号を通信用データに変換し、ホスト通信ユニット経由で中央監視盤へ送信します。	
ローカル通信側	回線方式	RS-485
	伝送方式	半2重通信
	同期方式	調歩同期方式(非同期)
	通信制御手順	ポーリング/セレクティング方式
MESL側	通信速度	9600bps (1200, 2400, 4800, 19200bpsメカ設定可)
	ライン最遠長	500m (RS485分岐ユニット含む)
伝送側	方式	2線式ランダム伝送直流パルス方式 無極性
	定格入力信号電圧	±24V
	定格信号消費電流	10mA
環境	使用周囲温度	-10℃~40℃
	使用周囲湿度	85%RH以下(非結露状態)
函体	材質	鋼板(SPCC), カバー: t1.0, 底板: t1.6
	処理	メッキ処理(MFZnIII)
質量	約4Kg	

端子接続方法

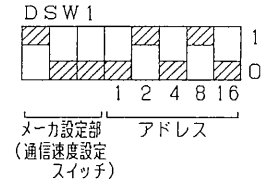


ご注意

- 本ユニットは保守・点検が容易にできる位置に設置してください。
- 本ユニットはアドレスがあり、アドレス設定が必要です。
- MESL伝送信号にシールド線付きを使用する場合は、シールド線はケースに接続しないで、伝送ユニットを設置している制御盤側で1点アースとしてください。
- RS-485信号線のシールド線はケースには接続しないで、端子台のSE端子に接続してください。また、(TXD+, TXD-), (RXD+, RXD-)はそれぞれペア線としてください。SG線はペア線2本で接続してください。
- 信号線は屋外に配線しないでください。雷などの外来サージで機器が破損したり、誤動作する場合があります。
- 圧着端子は付属していません。

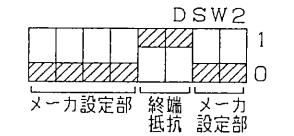
機能設定方法

アドレス/通信速度設定スイッチ (DSW1)



- ※1 アドレススイッチを1側に設定した数字の総和が端末通信ユニットのアドレス番号になります。(上記では8+2=10でアドレス番号は10番です。)
- ※2 メカ設定部は工場出荷時又は調整時に設定します。変更しないでください。

終端抵抗設定スイッチ (DSW2)



- ※1 送り配線接続の末端の端末通信ユニット及び分岐接続の末端の端末通信ユニットの終端抵抗設定スイッチを1側にしてください。
- ※2 メカ設定部は工場出荷時又は調整時に設定します。変更しないでください。

承認 APPROVED BY 柴田	検閲 CHECKED BY 柴田	名称 TITLE 端末通信ユニット仕様書 (盤内形)	
設計 DESIGNED BY 近藤	製図 DRAWN BY 小次	形名 MODEL NO. TMTU01RA	M-
TOSHIBA 東芝ライテック株式会社 TOSHIBA LIGHTING & TECHNOLOGY CORP.		図面番号 DRAWING NO. E-CTM-002028-1	第三角法 3RD ANGLE PROJECTION
保管 REGISTERED		尺度 SCALE	単位 UNITS mm